

硫黄島の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

海上自衛隊硫黄島航空基地によると、本日（12日）午前に行った航空機による上空からの観測で、硫黄島南側の沿岸で海水が海面から5～10mの高さまで噴出しているのが確認されました。このことから海底噴火が発生していると推定されます。

火山性地震の多い状態が続き、11日20時頃から発生した火山性微動が現在も継続しており、火山活動は活発な状態が続いています。今後も噴火が発生する可能性がありますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、引き続き噴火に警戒してください。

○ 活動概況

海上自衛隊硫黄島航空基地によると、本日（12日）午前に行った航空機による上空からの観測で、硫黄島南側の沿岸で、海水が海面から5～10mの高さまで噴出しているのが確認されました。このことから海底噴火が発生していると推定されます。

硫黄島では、9月8日02時頃から火山性地震が増加しており、地震活動は8日をピークに徐々に減少していますが、引き続き火山性地震は多い状態です。また、9月11日20時頃から火山性微動が継続しています。

GNSS¹⁾連続観測では、地震活動と同時期から通常より大きな隆起が観測されており、鈍化しつつも継続しています。

火山活動は活発な状態が続いています。今後も噴火が発生する可能性がありますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、引き続き噴火に警戒してください。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『2万5千分1地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

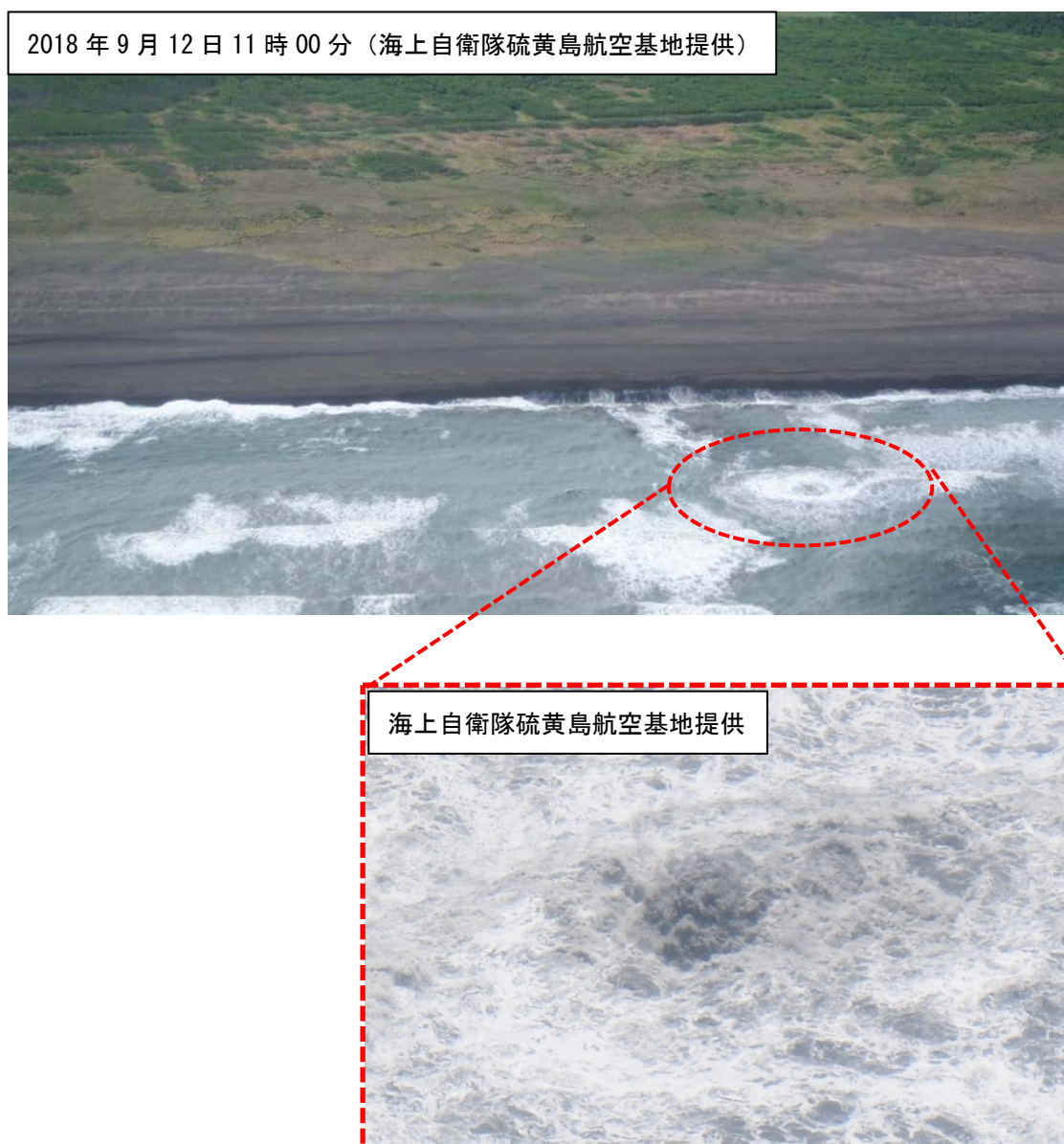


図 1 硫黄島 海底噴火の様子（2018 年 9 月 12 日、海上自衛隊硫黄島航空基地撮影）

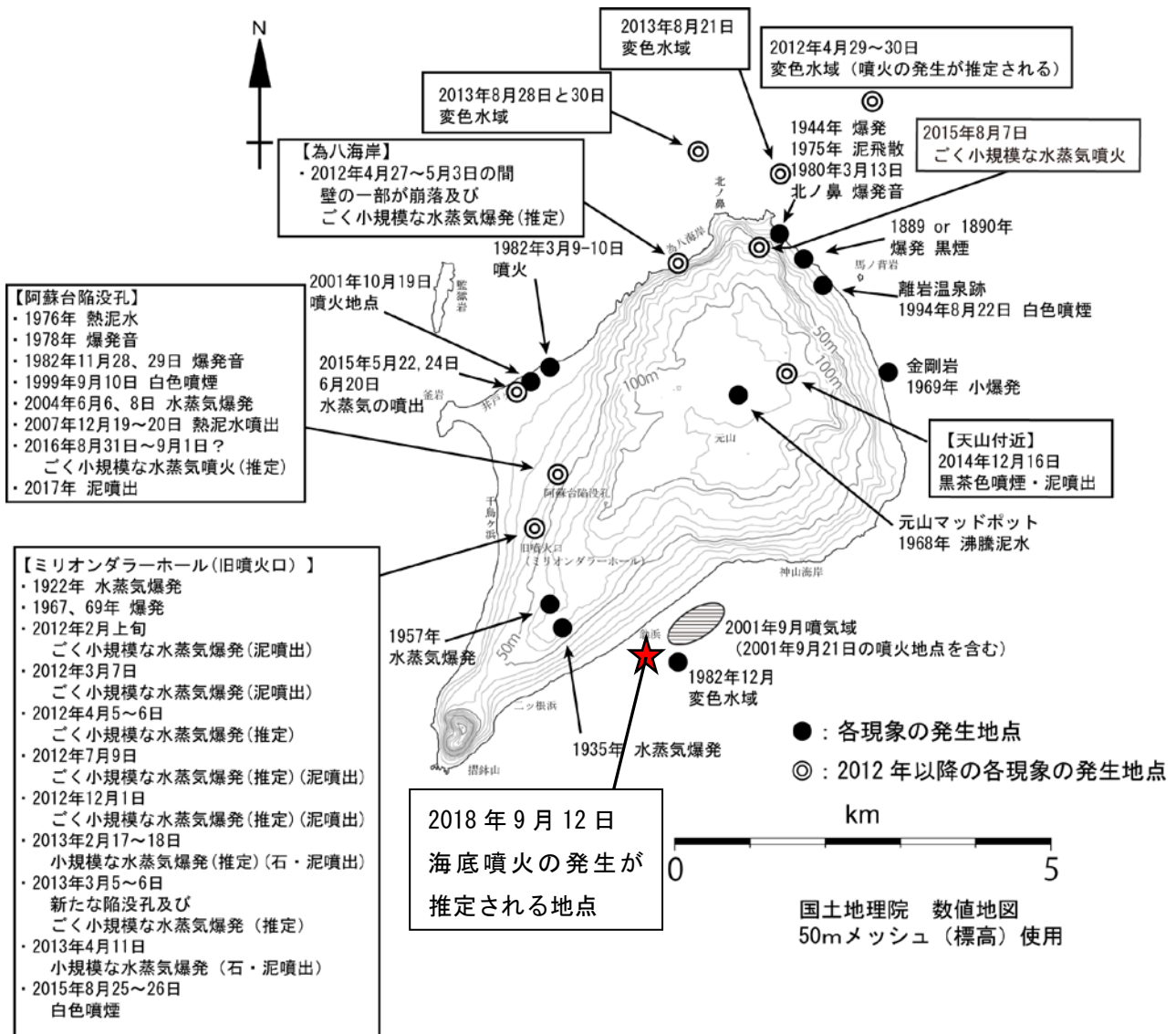


図2 硫黄島 今回と過去に噴火等が確認された地点及びその後の状況

「鶴川元雄・藤田英輔・小林哲夫, 2002, 硫黄島の最近の火山活動と2001年噴火, 月刊地球, 号外39号, 157-164.」を基に作成し、2004年以降の事象について追記